

市川を調べる

編集 市川を調べる会(会長・星 一郎/事務局・木村隆一)
発行 八戸市立 市川公民館(館長 氣田 武男)

「桔梗野」の移り変わり(2)

桔梗野 千葉 謙一

Ⅲ. 〈道路の変化〉

江戸時代まで八戸市内からの主要な道路は、下北に向かう「北浜街道(市川街道)」です。小田の坂を登り、頂上の交差点を海上自衛隊方面に右折、海上自衛隊の正門付近から自衛隊の中を通り、市川町橋向方面へと直進する道です。

桔梗野を通る県道8号線の原型は、小田の坂を登って直進、「高館小学校前」バス停付近から北北東へ右折、海上自衛隊・陸上自衛隊の中を通り、飲食店「三日月」の前に出る道路と繋がっていて、太平洋戦争で陸軍が飛行場を建設するため現在の道になりました。

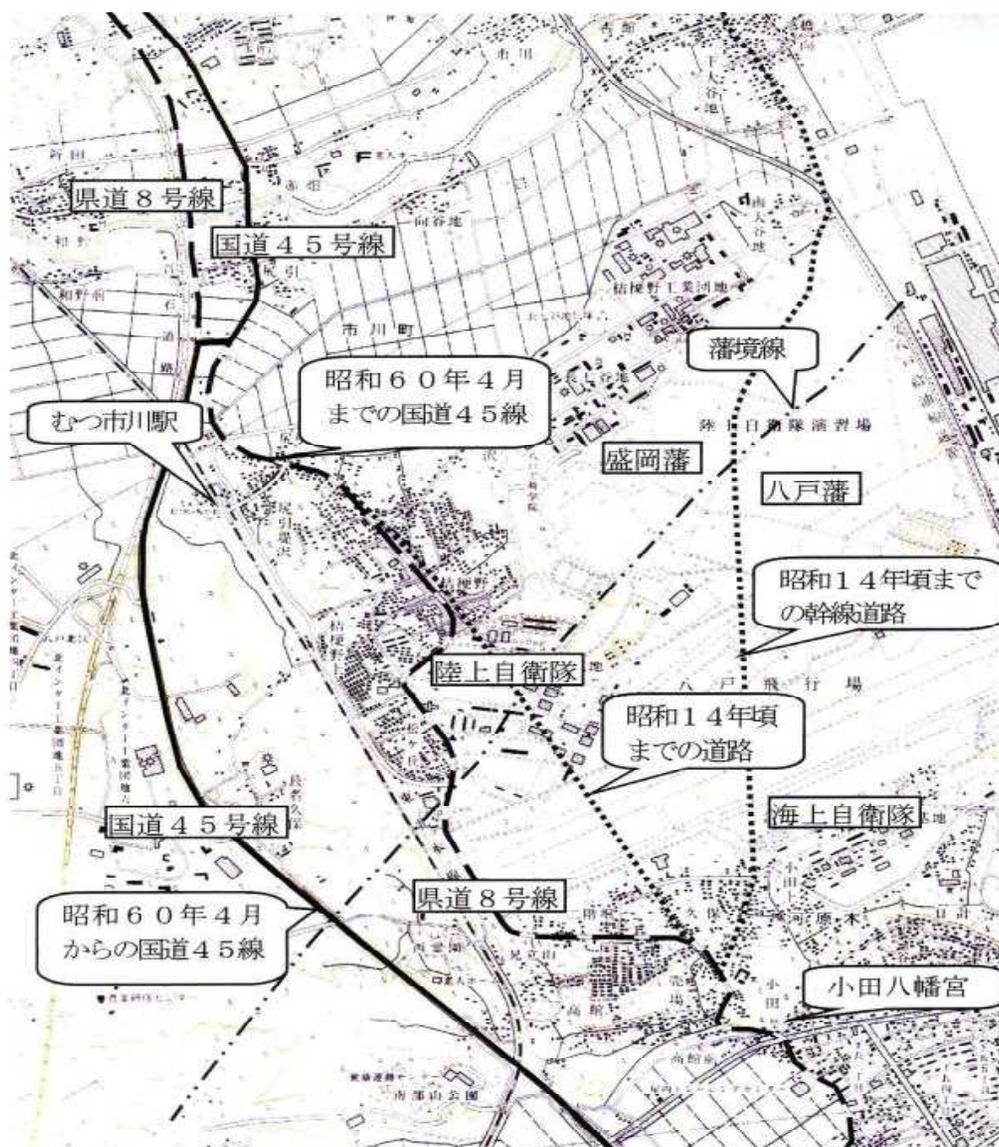
現在の県道8号線は、45号線北バイパスが昭和59年に完成したことにより、昭和60年4月12日に「国道45号線」として幹線道路の役目を終え、県道8号「八戸・野辺地線」に名称を変えました。

Ⅳ. 〈町の歴史〉

桔梗野地区の世帯数は、明治6年の21戸から昭和14年の24戸と殆ど変わりませんでした。人口が増加したのは、高館飛行場が完成して、軍関係者の住居が出来てからです。

その後、戦争が終わり、昭和20年10月以降、米軍が進駐してから軍相手の商売が始まって、桔梗野の町は一変しました。人員の増加に伴って客商売の店も急増、最盛期には130軒もの飲食店や旅館などが建ち並びました。

水目沢・ミズメジャ



↑ネズミジャの呼び名は、この頃広がったようです。

桔梗野地区は昭和30年4月1日、三戸郡から離れて八戸市に合併、八戸市市川町となりました。

現在の桔梗野地区は、桔梗野1～10区、陸奥市川、松ヶ丘、松ヶ丘ニュータウンの13町内と陸上自衛隊の駐屯地内に生活する町民で、人口は6,110人、世帯は2,941戸(平成21年9月末現在)で、市川町全体の人口12,943人の約半数が集まる中心街となっています。(3)

* 資料:「新撰陸奥国誌」「陸奥国三戸郡村誌」「青森県地名大辞典」「三戸郡河原木村繪圖」「八戸市史-近世資料集Ⅰ・Ⅱ」「八戸市桔梗野地区防犯協会創立50周年記念誌」 * 文と地図作成 千葉 謙一